

令和元年第3回臨時大分市教育委員会会議録

- 1 日時 令和元年7月23日(火) 午前9時から午前10時35分
- 2 場所 大分市役所議会棟3階 第4委員会室
- 3 出席者 教育長 三浦 享二
一番委員 上杉 美穂子
二番委員 大久保 眞理子
三番委員 生野 誉士
四番委員 古城 一
五番委員 古城 和敬
- 4 出席事務局職員
- | | | |
|---------|-----|-----|
| 教育部長 | 佐藤 | 雅昭 |
| 教育部教育監 | 重石 | 多鶴子 |
| 教育部次長 | 桑野 | 徹 |
| 教育総務課長 | 高田 | 隆秀 |
| 学校教育課長 | 野田 | 秀一 |
| 教育総務課参事 | 岡本 | 隆憲 |
| 学校教育課参事 | 小野 | 征司 |
| 学校教育課参事 | 大久保 | 敬 |

- 5 書記
- | | | | | | |
|----------|----|-----|-----------|----|-----|
| 教育総務課参事補 | 黒木 | 眞由美 | 教育総務課指導主事 | 三嶋 | みどり |
|----------|----|-----|-----------|----|-----|

- 6 傍聴人 なし

- 7 議題

(1) 議案

(教議第19号) 令和2年度使用教科用図書の採択について

- 8 会議の概要

教育長 ただいまより、令和元年第3回臨時大分市教育委員会を開会いたします。(午前9時開会)

教育長 会議に先立ち署名委員を四番委員、五番委員にお願いします。

それでは、議案審議に入ります。教議第19号「令和2年度使用教科用図書の採択について」ですが、本案は、令和2年度の小中学校及び義務教育学校で使用する教科用図書を採択しようとするものであります。

各委員もご承知のとおり、本採決に当たっては、「義務教育諸学校

の教科用図書の無償措置に関する法律」第12条第1項の規定に基づき、本市教育委員会におきまして採択することとなっております。また、採択された教科書は、「同法施行令」により、「学校教育法附則」第9条の規定による教科用図書を除き、教育計画の安定等を考慮し、4年間同一のものを使用することとなっております。

今年度につきましては、令和2年度より、小学校におきまして新しい学習指導要領が全面実施されますことから、小学校全教科の教科用図書の採択の年となっております。また、「特別の教科 道徳」を除く中学校全教科の教科用図書の採択の年となっておりますが、中学校においては、令和3年度の中学校新学習指導要領全面実施に伴う新しい教科用図書の採択を来年度控えているため、現行学習指導要領での教科書会社による新たな図書の検定申請がなかったこと、4年前の採択替えの際に採択された教科書が適正なものと認められていることから、あと1年継続して採択する旨、申し添えます。

本案の審議につきましては、採択における意思形成過程でありますことから、秘密会が相当と思われれます。

以上のことから、教議第19号の審議を秘密会とすることを発議いたしますが、賛成の方は挙手をお願いします。

全委員

(挙手)

教育長

全委員賛成と認め、教議第19号の議案の審議は秘密会とします。

それでは、事務局、説明をお願いします。

学校教育課長

教議第19号「令和2年度使用教科用図書の採択について」ご説明申し上げます。

まず、「小学校用教科用図書一覧」にあります教科用図書について説明します。

教育委員さん方におかれましては、小学校教科用図書の採択替えの年度に当たり、教科用図書採択に係る手続きの確認、また、学習会等を通し対象となる教科用図書見本本を研究していただいたところであります。

本日は、調査研究員会で作成し、7月17日（水）及び18日（木）

の大分市教科用図書選定委員会において報告されました資料を配布しております。

選定委員会では、まず、調査研究員が全ての教科用図書の特長を報告し、質疑・協議の後に、大分市の子どもたちに最もふさわしいと考えた1種類の教科用図書を原案として選定いたしました。

それでは、選定委員会で選定された教科用図書の特長について、具体例をお示ししながら、説明させていただきます。

はじめに、国語について説明いたします。

国語は4発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「光村図書出版」を次のような理由で選定することとなりました。1点目、大分市の学力調査の分析・考察から、大分市の4、5、6年生は、「書くこと」、「話すこと・聞くこと」の領域に課題があると言えます。光村図書の「書くこと」の単元では、学習過程の提示が100%なされており、何をどのように書けばよいのかが分かりやすいため、学習意欲が続くと考えられること。また、取材メモ、構成表、発想マップ、モデル作品、推敲例などの資料が多く、学習を深めていくための一助となること。2点目、教材文と関連して取り上げられている統計資料数が多く、「情報を取り出すこと」と「書くこと」を関連させて学習を深めていくことに効果的であること。3点目、振り返りが「知る」、「話す・聞く・書く・読む」、「つなぐ」の3観点で行われており、具体的に学びを振り返ることができるようになっていることなどがございます。

具体的に教科用図書をご覧いただきながら説明させていただきます。

5年生72ページから73ページをご覧ください。

「書くこと」の学習の進め方が具体的に示されております。

5年生77ページをご覧ください。

振り返りとして、「知る」、「書く」、「つなぐ」など振り返りの観点が示されております。

5年生219ページをご覧ください。

単元冒頭に付けたい力と言語活動を併せた「めあて」を明示しているのは一者だけであり、「大造じいさんとガン」では、「すぐれた表現に着目して読み、物語の魅力をまとめよう」とし、さらに、「心情や場面の様子をあらあわす表現を味わいながら読もう」と学習の方向を示しているので、学習者は、言語活動を通して学んでいくという学習の見通しをもつことができます。

5年生38ページをご覧ください。

「話す・聞く」の単元では、話すまでの思考ツールを使った考え方がたくさん示されており、「きいてきいてきいてみよう」のマッピングなど、考えや物事の間を整理したり、アイデアを広げたり、たくさんの事がらを整理するのに役立ち、日常に生きる力として身に付けさせることができます。

5年生96ページをご覧ください。

「話す・聞く」、「書く」単元では、交流場面における具体的な会話例を示しています。

なお、現在使用している教科用図書は「光村図書出版」ですが、ただいま説明いたしましたような理由から今回も「光村図書出版」の教科用図書が大分市の小学生の指導に最も適しているということになりました。

教育長

ご質問などありませんか。

全委員

(なしとの声)

学校教育課長

次に書写について、説明させていただきます。

書写は5発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「光村図書出版」を次のような理由で選定することとなりました。1点目、持ち方や姿勢など、文字を書くときの原理・原則について、発達の段階に応じたスモールステップを積み重ね、確実に基礎基本を身に付けられること。2点目、筆使いを「トン・スー・トン」と音声化したり、筆圧を「グッ」のような擬態語や統一したキャラクター等で表したり

していること。3点目、手紙や原稿用紙の書き方・ノートの工夫などを資料として掲載しているの、日常化につなげられることなどでございます。

具体的に教科用図書をご覧いただきながら説明させていただきます。

5年生6ページをご覧ください。

2年生以上の全教材に「たいせつ」欄を設け、文字を書く時のポイントを明確に示し、他の文字を書く時にも応用できるようにしています。また、児童が成就感や達成感を得ることができます。

5年生40ページをご覧ください。

各学年の巻末に「たいせつ」のまとめを配置し、身につけた書写力を日常に生かせるようにまとめられております。

5年生8ページをご覧ください。

「成長」の筆順と字形の学習について、以前は「成長」という字をお手本通り正しく書くよう学習していましたが、ここでは自分の字を書くときなどに生かせる学習の流れになっています。

なお、現在使用している教科用図書は「光村図書出版」ですが、ただいま説明いたしましたような理由から今回も「光村図書出版」の教科用図書が大分市の小学生の指導に最も適しているということになりました。

教育長

ご質問などありませんか。

全委員

(なしとの声)

学校教育課長

続いて、社会について、説明させていただきます。社会は、3発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「日本文教出版」を、次のような理由で選定することとなりました。1点目、1単位時間の見開き2ページの構成が、児童の思考に沿った問題解決的な学習に適していること。2点目、本文、セリフ、資料などが見やすく配置されていること。3点目、1時間ごとの「まとめ」のくくりはなく、「さらに考えたい問題」として問題解決的な学習の流れの中でまとめられて

おり、自分の生活に「生かす」方向で整理されていることなどがございます。

具体的に教科用図書をご覧いただきながら説明させていただきます。

4年生20ページをご覧ください。

「わたしたちの学びを生かそう」を新設し、各単元の問題意識から、子どもたちの興味・関心を発展させた多様な教材や社会的事象の見方・考え方を働かせながら社会的意味を見出すことができる教材となっております。

4年生24ページをご覧ください。

「健康なくらしを守る仕事」の「ごみの処理と活用」で大分市が扱われており、児童が興味関心をもちやすく、自分の身近な問題として追求することができます。

4年26ページをご覧ください。

登場人物のセリフが四角で囲まれ、本文と書体やポイントを変えており、本文とセリフの違いが見た目で分かりやすくなっております。

4年27ページをご覧ください。

学習場面に応じた学び方を「学び方・調べ方コーナー」で具体的に示しています。

なお、現在使用している教科用図書は「日本文教出版」ですが、ただいま説明いたしましたような理由から今回も「日本文教出版」の教科用図書が大分市の小学生の指導に最も適しているということになりました。

教育長

ご質問などありませんか。

全委員

(なしとの声)

学校教育課長

続いて、社会 地図について、説明させていただきます。

地図は、「東京書籍」と「帝国書院」の2発行者から見本本の送付がございましたので、その両者についての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて最終的に「帝国書院」を次のような理由で選定することとなりました。1点目、他者と比べ、全体的に地図の色彩が美しく、

鮮明で土地の高低差や土地利用の様子が見やすくなっていること。
2点目、「地図マスターへの道」を設け、児童が主体的に地図を活用し、達成感を得ながら地図活用の技能を高められるようになっていること。3点目、総ページ数120ページで情報量が豊富ですが、337グラムと軽量化されており、児童への身体的負担が軽減されることなどでございます。

さらに具体的に教科用図書をご覧いただきながら説明させていただきます。

29ページ及び30ページをご覧ください。

「日本の領土とそのまわり」のページを設け、北方領土、竹島、尖閣諸島を我が国固有の領土として、写真付きで示しています。

9ページから18ページをご覧ください。

「地図のやくそく」「地図帳の使い方」を10ページにわたって掲載し、地図の基本的な見方、使い方を解説しています。

21ページ、45ページをご覧ください。

「広く見わたす地図」と「都道府県を見る地図」に分けて掲載しており、子どもの発達の段階や調べたい内容に対応できるようになっております。

なお、現在使用しているのは「帝国書院」ですが、ただいま説明いたしましたような理由から今回も「帝国書院」の教科用図書が大分市の小学生の指導に最も適しているということになりました。

教育長

ご質問などありませんか。

全委員

(なしとの声)

学校教育課長

次に、算数について、説明させていただきます。

算数は、6発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に、「教育出版」を次のような理由で選定することとなりました。1点目、問題発見・解決の過程を示し、児童の問いの連続で学習を進めていくことができること。具体的には、「問題、子どもの問い(はてな)、考えをもつ、学びを深める問い、見方・考え方(なるほど)、新たな問

い（だったら）」と展開すること。2点目、つまずきやすいポイントを意識しながら学習できるようにしていること。具体的には、「まとめ」で典型的な誤答が見られる問題についてマークを付け、考えるヒントを掲載し、理解や定着への配慮がされていること。3点目、写真・図・挿絵等が豊富で適切に配置されていること。具体的には、「図のかき方」「器具の使い方」などを写真を使って、わかりやすく説明していることなどがございます。

さらに具体的に、教科用図書をご覧いただきながら説明させていただきます。

1年生82ページをご覧ください。

1年生では、子どもたちの実態に即した丁寧な指導が展開されています。特に「10より大きいかず」では、「位取り記数法」の学びやすく分かりやすい場面設定がされています。

5年生60ページ及び61ページをご覧ください。

確実に理解ができるようにスモールステップが仕込まれています。「合同な図形」では、はじめはマス目に、次はマス目をなしにするというように長さに目が向くような学習が仕込まれており、段階を追って学習することができます。

6年生121ページをご覧ください。

「だったら」というマークがあり、深める問いとして学びをつなげたり、より一層考えを深めたりする場の設定があり、比例を学んだあと、それをグラフに表したくなるような発問が設けられています。

6年生256ページをご覧ください。

各学年の巻末に既習事項がわかりやすくまとめられています。道具の使い方や図のかき方等が連続写真と説明で詳しくまとめられており、大切な図のかき方は後の学年の巻末にも掲載され、活用できるように工夫されています。

なお、現在使用しているのは、「教育出版」ですが、ただいま説明いたしましたような理由から今回も「教育出版」の教科用図書が大分市の小学生の指導に最も適しているということになりました。

教育長
全委員
学校教育課長

ご質問などありませんか。

(なしとの声)

次に理科について、説明させていただきます。

理科は、6 発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通し、最終的に「大日本図書」を次のような理由で選定することとなりました。1 点目、全学年を通じて問題解決の力を中心とした「理科の学び方」を示し、「教科書の使い方」をもとに学習を進めることで思考力・判断力・表現力が身に付くように工夫していること。2 点目、単元が「問題をみつける・問題・予想・計画・（観察・実験・調べる）・結果・考察・結論」という学習過程で構成しており、児童の考える道筋に合致したものであること。3 点目、単元末に「たしかめよう」を設け、基礎的、基本的な事項の定着を図り、「学んだことをいかそう」を設けることで、発展的な課題に触れ、活用力を身に付けられるよう工夫していること。4 点目、問題解決的な学習過程において、学習段階を色分して表示するとともに、挿絵や写真などの大きさ、配置等の工夫をすることで、児童の学習意欲の喚起につなげていること。5 点目、プログラミング的思考を3 年生から位置付けているのは1 者だけであることなどでございます。

さらに具体的に教科用図書をご覧いただきながら説明させていただきます。

3 年生1 6 ページ及び1 7 ページをご覧ください。

各単元の導入となるページには、見開き2 ページの写真等を用い、児童の興味・関心を喚起し、児童の発見や疑問を引き出した上で、「課題」へつなげています。

3 年6 8 ページをご覧ください。

拡大された写真等を多用する中、それらを効果的に配置することで、見やすいレイアウトとなっています。

6 年2 8 ページ及び3 3 ページをご覧ください。

下学年での既習事項の提示、単元の終末における中学校で扱う内容

を示すなど、小学校から中学校へのつながりを大切にしていることなどが挙げられます。

なお、現在使用している教科用図書も「大日本図書」ですが、ただいまご説明いたしましたような理由から今回も「大日本図書」の教科用図書が大分市の小学生の指導に最も適しているということになりました。

教育長

ご質問などありませんか。

全委員

(なしとの声)

学校教育課長

次に、生活について、説明させていただきます。

生活は、8発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通し、最終的に「東京書籍」を次のような理由で選定することとなりました。1点目、児童の気づきの質を高める学習活動例が多く、活動を振り返り、気づいたことを多様な方法で表現したり、伝え合ったりして他者と交流できるように学習活動の充実を図ることができること。2点目、学期ごとにそれまでの学習を振り返り、できるようになったこと、やってみたいことなどを長期休業やこれからの生活につないでいること。3点目、動植物の観察やものづくり、校区の探検など、中学年の理科、社会科、総合的な学習に生かせるような活動やまとめの例が豊富に示されていることなどがございます。

具体的に教科用図書をご覧いただきながら説明させていただきます。

上巻2ページ及び3ページをご覧ください。

生活科の目標である「具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていく」ことが達成されるよう、幼児教育と小学校教育をつなぐ「スタートカリキュラム」のページが充実しており、小学校生活へスムーズに馴染みやすく、希望がもてる構成になっています。

下巻53ページをご覧ください。

紙面の右端には、学習活動に即した習慣や技術を身に着けるために

手掛かりとなる絵や記述が豊富に掲載されており、2年生では、他教科の学習に生かすことができる記述もあります。

下巻108ページをご覧ください。防災や安全面を取り上げているページが多く、「命を守るためのやくそく」で掲載されている文言「いかのおすし」、「おはしも」が、各学校で指導しているものと同じものを使用しています。

なお、現在使用している教科用図書も「東京書籍」ですが、ただいまご説明いたしましたような理由から今回も「東京書籍」の教科用図書が大分市の小学生の指導に最も適しているということになりました。

教育長

ご質問などありませんか。

全委員

(なしとの声)

学校教育課長

次に、音楽について、説明させていただきます。

音楽は、「教育出版」と「教育芸術社」の2発行者から見本本の送付がございましたので、その両者についての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「教育芸術社」を次のような理由で選定することとなりました。1点目、児童の発達の段階に応じ、6年間を通して段階的・系統的に学びが発展するよう題材構成されていること。2点目、学んだことを関連付けたり活用したりすることができるように、音楽を形づくっている要素を中心に各教材が結び付けられて構成されていること。3点目、題材のねらいと学習のねらいが分かりやすく明確に示されており、児童や教師が見通しをもって取り組むことができるよう工夫されていること。4点目、文字のフォントや五線が見やすく、色も統一されており、視覚的に配慮されていることなどがございます。

具体的に教科用図書をご覧くださいながら説明させていただきます。

3年生18ページをご覧ください。

指導の難しい器楽の技能の確実な習得ができるように、リコーダーの穴番号が表記され、リコーダーの構造の理解に有効であり、また、

その後の指導にも効果的です。

6年生40ページをご覧ください。

郷土の音楽家である滝廉太郎の作品が、題材のねらいに沿って掲載されており、楽譜や写真で他者と比較してより詳しく取り上げられています。

なお、現在使用している教科用図書も「教育芸術社」ですが、ただいまご説明いたしましたような理由から今回も「教育芸術社」の教科用図書が大分市の小学生の指導に最も適しているということになりました。

教育長

ご質問などありませんか。

全委員

(なしとの声)

学校教育課長

次に、図画工作について、説明させていただきます。

図画工作は、「開隆堂出版」と「日本文教出版」の2発行者から見本本の送付がございましたので、その両者についての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「開隆堂出版」を次のような理由で選定することとなりました。1点目、年間の学習内容が育てたい力の観点ごとに分かりやすく表示されていて、どの題材でどのような資質・能力を育てればいいのか、年間の見通しをもちやすくなっていること。2点目、題材を系統的に設定し、発達の段落とともに学びを深めていくことができるよう配慮がなされていることなどがございます。

具体的に教科用図書をご覧くださいながら説明させていただきます。

5・6年生下巻2ページから4ページをご覧ください。

題材で育てたい三つの資質・能力を「学習のめあて」として分かりやすく位置付け、特にその題材で大事にしたい観点が、文字の色を変えて明確に表記されています。さらに、その「めあて」に対応した「ふりかえり」が設定されており、児童が、目的をもって活動に取り組むことができます。

5・6年生下巻9ページをご覧ください。

各教科との関連が記述してあり、題材からの広がりがあります。

5・6年生下巻47ページをご覧ください。

「中学校生活に向けて」という事例が具体的に取り上げられています。また、「導入・展開・振り返り」がはっきりとした構成が大分市授業づくりの5つのポイントの流れになっています。

なお、現在使用している教科用図書は「日本文教出版」ですが、ただいまご説明いたしましたような理由から今回は「開隆堂出版」の教科用図書が大分市の小学生の指導に最も適しているということになりました。

教育長

ご質問などありませんか。

全委員

(なしとの声)

学校教育課長

次に、家庭について、説明させていただきます。

家庭につきましても「東京書籍」と「開隆堂出版」の2発行者から見本本の送付がございましたので、その両者についての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「開隆堂出版」を次のような理由で選定することとなりました。1点目、2年間の学習が段階的に且つ、スパイラルで配列されているので、児童の発達の段階に応じた学習の深め方ができるようになっていること。2点目、挿絵・図表について、基本的な知識及び技能の習得のために実習の写真を豊富に取り込み、ポイントが理解しやすいこと。特に、手元を大きく写している写真が多く、イメージしやすくなっていることなどでございます。

具体的に教科用図書をご覧いただきながら説明させていただきます。

20ページをご覧ください。

「なぜ〇〇だろう」という問いかけから学習が始まっており、問題解決型の学習がしやすくなっています。

20ページから24ページをご覧ください。

実践的体験的な活動を通して話し合い活動や思考する活動、意見を述べる活動など様々な言語活動ができるように工夫されています。

2ページをご覧ください。

5年生の初めのガイダンスの時間に目次をみて、中学校の学びを見
通しながら2年間の家庭科学習を行っていくことを児童に意識付けら
れるようになっております。

127ページをご覧ください。

6年生の最後に中学校での学習に意欲をもたせる構成になっており
ます。

なお、現在使用している教科用図書も「開隆堂出版」であります
が、ただいまご説明いたしましたような理由から今回も「開隆堂出
版」の教科用図書が大分市の小学生の指導に最も適しているというこ
とになりました。

教育長

ご質問などありませんか。

全委員

(なしとの声)

学校教育課長

次に、保健について、説明させていただきます。

保健は、5発行者から見本本の送付がございましたので、その全て
についての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「学研
教育みらい」を次のような理由で選定することとなりました。1点
目、「早ね早起き朝ごはん」や「いろいろな運動の取組」を推奨する
内容が生活習慣の確立や体力向上の面で、大分市の子どもの実態に合
っていること。2点目、他教科との関連に加えて、中学校での学習内
容との関連も記載されており、小中一貫教育の視点から見通しをもっ
て学習に臨めることなどでございます。

具体的に教科用図書をご覧くださいながら説明させていただきます
す。

5・6年6ページをご覧ください。

導入が全ての単元を通じて決まった場所にあることや、学習の道筋
が「つかむ」、「考える 調べる」、「まとめる 深める」と統一さ
れた構成となっています。また、内容に応じた挿絵や写真を豊富に用
いており、視覚的に分かりやすく、統計資料も効果的に配置されてい
ます。これらは、全ての子どもたちの思考の手助けとなり、話し合い
活動の促進、理解の定着を望むことができます。

5・6年生17ページをご覧ください。

「心の健康」の單元の中に、今日的な課題であります「いじめ」に関する記述があるのは、「学研教育みらい」だけであります。

5・6年生28ページから29ページ、53ページから56ページをご覧ください。

自然災害等、緊急事態に備えての記述がより具体的であります。防災については、「緊急警報」や「助け合い・復興」、「お薬手帳」等、市民や子どもの目線に立った詳しい記述があります。

なお、現在使用している教科用図書も「学研教育みらい」ですが、ただいまご説明いたしましたような理由から今回も「学研教育みらい」の教科用図書が大分市の小学生の指導に最も適しているということになりました。

教育長

ご質問などありませんか。

全委員

(なしとの声)

学校教育課長

次に、外国語について、説明させていただきます。

外国語は、7発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「東京書籍」を次のような理由で選定することとなりました。1点目、各単元が、出会うー慣れるー楽しむー広げるーCheck your steps というスモールステップによる構成となっており、見通しをもった学習が可能であること。2点目、これまでの移行期間で、指導が難しいとされていた「文字の指導」に対して、扱いやすいこと。3点目、他教科との関連も数多く掲載されており、関連マーク・教科名付きで分かりやすいこと。その教材を使った教科横断的な学習を通して知識と融合を図りながら、児童の視野を広げることができること。4点目、単元の終わりには、関連した外国の教材があり、児童の興味関心を引き、世界の国々を身近に感じることができることなどございます。

具体的に教科用図書をご覧くださいながら説明させていただきます。

題材・指導の流れや挿絵が8割以上、現在使用中の指導用教材「We Can!」に類似しているため、6年生や指導者もスムーズに移行できると考えられます。

巻末に単元末のコミュニケーション活動の際に使用するワークシートやコミュニケーションカードが準備されており、経験の少ない教師でも教えやすいと考えられます。

別冊になりますが、教科になり、取組の困難さが予想される「書くこと」に対して、書き写す元となる絵辞書(Picture Dictionary)が5、6年の児童に配付されるため、書き写すことが容易になります。

外国語につきましては、今回が初めての採択となります。ただいま説明いたしましたような理由から「東京書籍」の教科用図書が大分市の小学生の指導に最も適しているということになりました。

教育長

ご質問などありませんか。

全委員

(なしとの声)

学校教育課長

最後に、道徳について、説明させていただきます。

道徳は、8発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「光文書院」を次のような理由で選定することとなりました。1点目、導入・展開・終末という授業の流れが分かりやすいため、どの学級においてもねらいを達成させることが期待できること。2点目、学んだことが、他教科・領域や家庭生活、地域社会へとつながるような課題やポイントを、授業の終わりに「ひろげる」として提示していること。3点目、全学年にわたって大分の伝統や文化、行事、先人など身近なものが題材として取り上げられていることなどでございます。

具体的に教科用図書をご覧いただきながら説明させていただきます。

1年生152ページをご覧ください。

道徳の授業は、年間35時間ですが、40時間分の教材があり、学級の実態や教師・家庭・地域の願いに応じて柔軟性をもって授業が展

開できます。

1年生142ページ及び5年生92ページをご覧ください。高崎山のサヤカやプロ野球の内川聖一選手など、大分市の児童に親しみのある題材が取り上げられていることにより、興味・関心を高め、授業に取り組むことができます。

5年生104ページ及び144ページをご覧ください。

「情報モラル」と「いじめ防止」については、全学年にコラムが設定され、児童自らが問題について主体的に考えることが期待されます。

なお、現在使用している教科用図書も「光文書院」ですが、ただいまご説明いたしましたような理由から今回も「光文書院」の教科用図書が大分市の小学生の指導に最も適しているということになりました。

以上が小学校教科用図書の採択に係る説明でございます。

教育長

ご質問などありませんか。

委員

前年度から発行者が変更した教科は、どの教科でしょうか。

教育長

図画工作については、現在、日本文教出版を使用していますが、今回開隆堂出版を選定しています。

委員

QRコードやインターネットの活用がありましたが、家庭に帰って参照するというのでしょうか。

学校教育課長

二学期よりタブレットが導入されることから、授業中に参照することも可能です。

委員

教科書の重量も考慮されているようですが、デジタル教科書について、これからの計画はどうなっているのでしょうか。

学校教育課長

デジタル教科書につきましては、見やすさや音声など非常に工夫されています。次年度から、特別な支援の必要な子どもの使用が可能となるよう、進めているところでございます。デジタル教科書に限らず、デジタル教材を用いて、より子どもたちに詳しく説明し、授業を行っていくようにしております。

教育長

デジタル教科書には教師用と学習者用があり、本市では教師用の端

末により子どもたちに提示するよう考えています。小学校算数と中学校英語を導入するよう考えております。

委員 地図のところで重量が考慮の要素となっていましたが、他の教科はどの程度考慮の対象となっているのでしょうか。

学校教育課長 他の教科では、計量をしておりません。児童生徒の負担軽減ということから、各発行者とも紙質やインク等に考慮し、発行をしておりません。

教育長 全ての教科書の重量を比較検討してはいないということです。

委員 審査された方々は、お疲れ様でした。小中学校のつながりを考慮している教科書が多いように感じました。小学校の先生が中学校の内容についてどこまで扱えるか、また、中学校の先生が小学校の内容について熟知するのに役立てられると思いますので、つながりの部分について創意工夫をお願いしたいと思います。

学校教育課長 中学校の部分について直接指導するものではありませんが、先の見通しを持たせるよう、教科書が構成されています。本市が進めている小中一貫教育に適していると考えております。

教育長 新学習指導要領は、生きる力を育成するという目標の下、「学びの、その先へ」という副題をつけて改訂されています。義務教育段階において、9年間の系統的な指導をするということで編成をされています。教科書を見ると、各発行者ともそれが色濃く反映されています。

委員 選定の段階から携わりましたが、発行者の多い教科については2発行者に絞り、丁寧な説明を受けました。

小中のつながりについてですが、小学校は学級担任が全ての教科を教えるという形から、英語の教科化などにより中学校の先生が小学校の授業に入るなど教科担任制の流れがある中、今回、英語については、小学校と中学校の教科書が違っています。中学校の先生が小学校の授業に入った時、児童が小学校から中学校に上がった時を考えた時、2者を比較すると小学校は確かに東京書籍の方が見やすく、また扱いやすくなっています。それは教師も児童もそうではないかと思

ました。より小学校から中学校のつながりを考えた時に、先生方の教科書の扱い方やデジタル教科書が導入されるのであれば、その扱い方について、また、英語が小学校で教科化されたことで、中学校入学時に差がつくことが懸念されることから、そういったことも考えていかなければと思います。

委員

学習会で教科書を見てきましたが、本日説明を聞き、大分市の子どもの実態に合った教科書が選定されていると実感しました。選ばれた教科書は、思考力や判断力、学習意欲を養うものとなっています。英語についてですが、小学校6年生で書く力はあまり求められていないのでしょうか。英語用のノートを用意して学習するのでしょうか。

学校教育課長

小学校の外国語活動、英語で求められているのは、外国語活動ではコミュニケーションの素地を、英語では基礎を養うところにありますので、話す、聞くが重点となります。

書くことについては、覚えて書くのはアルファベットの段階まで、単語や文章については、音声に慣れ親しんだものを書き写すなど文字に慣れ親しむこととなります。中学校で行っていることが早期化されるものではありません。子どもたちの英語に対する興味や関心が失われないよう、小中の接続が指導の大きな課題の一つであると考えております。

教育長

小学校では、英語以外の教科についても、英語科の導入が意識された編集となっております。例えば、家庭科の各ページには英単語が、保健の教科書には英語の詩が掲載されています。5、6年生の教科書になると、英語が目に触れる機会がかなり増えてきます。

教育長

他にご質問はありませんか。

全委員

(なしとの声)

学校教育課長

次に、中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書につきましては、現在使用しております「中学校用教科書一覧」にあります教科用図書を、あと1年継続して採択しようとするものでございます。

小中学校及び義務教育学校の特別支援学級で使用する教科用図書の

